

(様式第 10)

奈医病管第 81号
平成27年10月 5日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

開設者名 公立大学法人奈良県立医科大学
理事長 細井 裕司 (印)

奈良県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成26年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒634-8522 奈良県橿原市四条町840
氏 名	公立大学法人 奈良県立医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

奈良県立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840	電話 (0742) 22-3051
---------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1循環器・腎臓・代謝内科 2呼吸器・アレルギー・血液内科 3消化器・内分泌代謝内科	
4感染制御内科 5神経内科 6 7 8 9 10 11	
12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
1 消化器外科・小児外科・乳腺外科 2 心臓血管外科 3 呼吸器外科 4 耳鼻咽喉科・甲状腺外科 5 形成外科 6 7 8 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ⑦産婦人科 13放射線診断科	②小児科 8産科	③整形外科 9婦人科	④脳神経外科 ⑩眼科	⑤皮膚科 ⑪耳鼻咽喉科	⑥泌尿器科 ⑫放射線科
⑬放射線治療科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科					

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1 歯科口腔外科 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科 8 15	2 リハビリテーション科 9 16	3 10 17	4 11 18	5 12 19	6 13 20	7 14 21
--------------------	-------------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
108床	9床	床	床	875床	992床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 27年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	523人	89人	552.4人	看 護 補 助 者	66人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	24人	3人	25.2人	理 学 療 法 士	23人	臨 床 検 査 技 師	85人
薬 剤 師	57人	7人	61.0人	作 業 療 法 士	9人	衛 生 検 査 技 師	1人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	0人
助 産 師	37人	4人	39.7人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	1人
看 護 師	933人	36人	956.7人	臨 床 工 学 士	33人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	22人
准 看 護 師	2人	1人	2.8人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	0人
歯 科 衛 生 士	4人	0人	4人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	172人
管 理 栄 養 士	10人	0人	10人	診 療 放 射 線 技 師	51人	そ の 他 の 職 員	0人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年 9月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	25人	眼科専門医	18人
外科専門医	44人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精神科専門医	19人	放射線科専門医	31人
小児科専門医	18人	脳神経外科専門医	18人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	26人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	26人
産婦人科専門医	17人	救急科専門医	8人
		合 計	279人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	770.0人	17.9人	787.9人
1日当たり平均外来患者数	1416.6人	72.0人	1488.6人
1日当たり平均調剤数			4080.8剤
必要医師数			168人
必要歯科医師数			7人
必要薬剤師数			39人
必要(准)看護師数			445人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備		概 要	
集中治療室	580.06m ²	鉄筋コンクリート	病床数	24床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 263.6 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	21床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 67.9 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 尿検査システム 等			
細菌検査室	745.9 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析システム 等			
病理検査室	m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 検体搬送システム 等			
病理解剖室	226.2 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電動解剖/コクローンカットシステム 等			
研究室	1589.4m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 各種 実験・研究装置 等			
講義室	460.4m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員	317人
図書室	1303.1m ²	鉄筋コンクリート	室数	5室	蔵書数	147,369冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	79.9%	逆紹介率	57.7%
算出根拠	A: 紹介患者の数	17523人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13780人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1566人	
	D: 初診の患者の数	23878人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
骨髄細胞移植による血管新生療法	0人
硬膜外自家血注入療法	12人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(1週間に1回投与するものに限る)及びカルボプラチン腹腔内投与(3週間に1回投与するものに限る)の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

該当無し

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	47人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	87人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	98人	・原発性胆汁性肝硬変	112人
・全身性エリテマトーデス	301人	・重症急性膵炎	11人
・スモン	14人	・特発性大腿骨頭壊死症	112人
・再生不良性貧血	64人	・混合性結合組織病	39人
・サルコイドーシス	102人	・原発性免疫不全症候群	7人
・筋萎縮性側索硬化症	70人	・特発性間質性肺炎	33人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	269人	・網膜色素変性症	17人
・特発性血小板減少性紫斑病	99人	・プリオン病	7人
・結節性動脈周囲炎	93人	・肺動脈性肺高血圧症	22人
・潰瘍性大腸炎	292人	・神経線維腫症	27人
・大動脈炎症候群	32人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	52人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	44人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7人
・脊髄小脳変性症	116人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	89人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	30人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	479人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	29人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	23人
・後縦靭帯骨化症	28人	・肥大型心筋症	36人
・ハンチントン病	6人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	65人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	13人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	137人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	81人	・黄色靭帯骨化症	8人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	157人

2,738人

653人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・歯科外来診療環境体制加算
・歯科診療特別対応連携加算	・特定機能病院入院基本料7対1
・臨床研修病院入院診療加算	・救急医療管理加算
・超急性期脳卒中加算	・妊産婦緊急搬送入院加算
・診療録管理体制加算	・急性期看護補助体制加算75対1
・看護補助加算2	・療養環境加算
・重症者等療養環境特別加算	・無菌治療室管理加算1及び2
・緩和ケア診療加算	・精神科応急入院施設管理加算
・精神科病棟入院時医学管理加算	・精神科身体合併症管理加算
・摂食障害入院医療管理加算	・がん診療連携拠点病院加算
・医療安全対策加算1	・感染防止対策加算1
・患者サポート充実加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・ハイリスク妊婦管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・退院調整加算	・新生児特定集中治療室退院調整加算
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・救急搬送患者地域連携受入加算
・精神科救急搬送患者地域連携紹介加算	・総合評価加算
・データ提出加算2	・救命救急入院料3及び4
・特定集中治療室管理料1	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・総合周産期特定集中治療室管理料	・新生児治療回復室入院医療管理料
・一類感染症患者入院医療管理料	・小児入院医療管理料1
・精神科救急入院料1	・精神科救急・合併症入院料
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)
・高度難聴指導管理料	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料
・外来緩和ケア管理料	・移植後患者指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・外来放射線照射診療料
・地域連携診療計画管理料	・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
・がん治療連携計画策定料	・がん治療連携管理料
・認知症専門診断管理料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・薬剤管理指導料	・医療機器安全管理料1
・医療機器安全管理料2	・医療機器安全管理料(歯科)
・歯科治療総合医療管理料	・持続血糖測定器加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・植込型心電図検査	・時間内歩行試験
・胎児心エコー法	・ヘッドアップティルト試験
・皮下連続式グルコース測定	・長期継続頭蓋内脳波検査
・神経学的検査	・補聴器適合検査
・小児食物アレルギー負荷検査	・内服・点滴誘発試験
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・画像診断管理加算1
・画像診断管理加算2	・CT撮影及びMRI撮影
・冠動脈CT撮影加算	・外傷全身CT加算
・心臓MRI撮影加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・無菌製剤処理料
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション料2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・認知療法・認知行動療法	・精神科ショート・ケア「大規模なもの」
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・精神科デイ・ケア「大規模なもの」
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・医療保護入院等診療料	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・透析液水質確保加算2
・一酸化窒素吸入療法	・CAD/CAM冠
・歯科技工加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・経皮的冠動脈形成術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・補助人工心臓
・経皮的動脈遮断術	・ダメージコントロール手術
・腹腔鏡下肝切除術	・生体部分肝移植術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・同種死体腎移植術
・生体腎移植術	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(医科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・輸血管管理料 I
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・麻酔管理料(Ⅱ)	・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算	・高エネルギー放射線治療
・1回線量増加加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・定位放射線治療	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・保険医療機関間の連携による病理診断	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診	・病理診断管理加算
・口腔病理診断管理加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・歯科矯正診断料	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・超音波骨折治療法	・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術
・インプラント義歯	・腹腔鏡補助下垂体尾部切除・核出術
・腹腔鏡下子宮体がん根治術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	概ね1, 2週間に1回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 40 例 / 剖検率 6.42%

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
合成繊維集合体の高強度化への革新的アプローチ	大崎 茂芳	皮膚科学	3,770,000	補委 文部科学省
肺高血圧一右心不全発症における新規TMEM100遺伝子の病態生理的意義の解明	斎藤 能彦	第一内科学	4,550,000	補委 文部科学省
自己細胞移植による次世代型血友病A治療の創出	嶋 緑倫	小児科学	7,800,000	補委 文部科学省
臓器再生・移植医療を目指したiPS腸管を用いた機能的膵臓の臓器分化誘導法の開発	山田 高嗣	消化器・総合外科学	6,760,000	補委 文部科学省
iPS腸管作製技術を応用した難治性腸疾患に対する新たな腸管再生・移植医療への挑戦	中島 祥介	消化器・総合外科学	5,850,000	補委 文部科学省
胎児期子宮内膜症発症説の実証と癌化機序の解明	小林 浩	産婦人科学	10,920,000	補委 文部科学省
呼吸不全、肥満低換気症候群における急性増悪は低酸素化学感受性の低下が関与する	木村 弘	第二内科学	910,000	補委 文部科学省
開頭手術における運動誘発電位モニタリングに関する検討	阿部 龍一	中央手術部	650,000	補委 文部科学省
慢性閉塞性肺疾患に対する新規栄養療法の開発：進行抑制から発症予防までをめざして	吉川 雅則	第二内科学	1,170,000	補委 文部科学省
慢性閉塞性肺疾患：表現型規定因子の探求一日米比較研究からの発信	山本 佳史	第二内科学	650,000	補委 文部科学省
第四因子活性化・不活化機構の解明と新規凝固・抗凝固薬への応用に関する基礎的研究	野上 恵嗣	小児科学	1,170,000	補委 文部科学省
GVHDモデルマウスにおける細胞障害性T細胞を制御する転写因子の同定	宮川 史	皮膚科学	1,560,000	補委 文部科学省
統合失調症における補体制御因子機能とシナプスブルーニング機構解析	岸本 年史	精神医学	1,430,000	補委 文部科学省
主観的認知障害発症へのメタボリック症候群の影響に関する研究・高齢者コホート研究	森川 将行	精神医学	650,000	補委 文部科学省
脳梗塞後うつ病に対する客観的指標の確立	安野 史彦	精神医学	1,820,000	補委 文部科学省
進行膵癌に対するIVR技術を駆使した新規治療法の開発	田中 利洋	放射線医学	910,000	補委 文部科学省
消化器癌における腫瘍特異的メモリー細胞能動的誘導法の開発	庄 雅之	消化器・総合外科学	1,430,000	補委 文部科学省
エリスロポエチンの炎症性腸疾患に対する新規治療の可能性	中村 信治	消化器・総合外科学	1,040,000	補委 文部科学省
骨腫瘍に対する患肢温存を目的とした細胞活性を有した液体窒素処理骨移植法の開発	藤間 保晶	整形外科	1,430,000	補委 文部科学省
担がん患者の骨微小環境の解析と間葉系幹細胞の病態への動的関与	城戸 顕	整形外科	1,170,000	補委 文部科学省
多発性嚢胞腎の細胞マトリックス接着応答とエピジェネティクス修飾による治療法の研究	石橋 道男	泌尿器科学	520,000	補委 文部科学省
卵巣明細胞腺癌におけるDNAチェックポイント機構制御の解明と新規治療戦略の構築	重富 洋志	産婦人科学	1,430,000	補委 文部科学省
卵巣明細胞腺癌の抗癌剤耐性克服による新規治療法の開発	金山 清二	M F I C U	1,430,000	補委 文部科学省
高齢者の視機能と眼疾患における全身因子および色素上皮由来因子の関与	緒方 奈保子	眼科学	1,040,000	補委 文部科学省
ハイドロゲルレンズフィル後の屈折、調節の評価	松浦 豊明	眼科学	910,000	補委 文部科学省
組織工学と多能性幹細胞の腸管分化誘導技術を融合した新しい腸管移植法の開発	金廣 裕道	消化器・総合外科学	1,170,000	補委 文部科学省
敗血症に対するADAMTS13の効果	西尾 健治	総合医療学	1,820,000	補委 文部科学省
即時・早期荷重インプラントの周囲骨の治癒にオーバーロードが及ぼす影響	杉浦 勉	口腔外科学	1,560,000	補委 文部科学省
マイクロRNAの制御を介した新たな口腔癌治療法の開発	山本 一彦	口腔外科学	1,040,000	補委 文部科学省
上顎の形成過程におけるWntシグナリングの役割	川上 正良	口腔外科学	1,560,000	補委 文部科学省
ピロリ菌感染により幹細胞レベルで誘発されるメチル化の同定	浅田 潔	第三内科学	1,560,000	補委 文部科学省
周術期医療のクオリティ・インディケーターとしての麻酔満足度尺度の開発	田中 優	中央手術部	1,690,000	補委 文部科学省
がん放射線治療の均填化のためのモバイル遠隔教育システムの構築	玉本 哲郎	放射線腫瘍医学	2,080,000	補委 文部科学省
光学ナノパーティクルによる単球標識とOCTを利用した不安定プラーク診断法の開発	上村 史朗	第一内科学	1,430,000	補委 文部科学省
可溶性Flt-1のCKD関連心不全における役割と肺水腫発症抑制効果の検討	竹田 征治	第一内科学	1,040,000	補委 文部科学省
自己貪食空胞性ミオパチーにおけるオートファジー分子機構の病態関与の解明	杉江 和馬	神経内科学	1,430,000	補委 文部科学省
造血幹細胞移植後の致死的疾患である血栓性微血管障害症の新規診断法と治療法の開発	松本 雅則	輸血部	1,560,000	補委 文部科学省
後天性凝固異常症における凝固機能評価と抑制メカニズムの解明	松本 智子	小児科学	1,170,000	補委 文部科学省
社会経験依存的に発達する前頭前野の興奮性神経回路は治療の手がかりとなるか	芳野 浩樹	精神医学	780,000	補委 文部科学省
コラーゲンゲル内での三次元培養によるES細胞から心筋細胞への効率的な分化誘導	谷口 繁樹	胸部・心臓血管外科学	1,430,000	補委 文部科学省
Ischemic Postconditioning に関する電気生理学的検討	中川 一郎	脳神経外科学	1,690,000	補委 文部科学省
再生医療技術を用いた血管付き人工骨による四肢偽関節の治療に関する研究	村田 景一	整形外科	1,690,000	補委 文部科学省
心臓血管手術中におけるレーザースペックル法による眼血流測定と術後視機能障害の検討	林 浩伸	麻酔科学	1,950,000	補委 文部科学省
内服可能な大豆タンパクペプチドによる卵巣がん分子標的抗腫瘍薬の開発	春田 祥治	産婦人科学	1,820,000	補委 文部科学省

小計 44

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
卵巣明細胞腺癌の細胞周期チェックポイント機構修飾による新規治療法の解明	吉田 昭三	産婦人科学	1,560,000	補委 文部科学省
耳鳴発生の分子機構の解明と新規治療法の模索	北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,430,000	補委 文部科学省
平衡リハビリテーションにおける感覚代行技術の実用化に向けた基礎研究	山中 敏彰	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,300,000	補委 文部科学省
宇宙放射線組成線種・重粒子線によるDNA損傷とその修復機構	大西 武雄	放射線腫瘍医学	2,080,000	補委 文部科学省
OSASの多様性に対応した個別化治療の構築—薬物療法の可能性の探索—	山内 基雄	第二内科学	1,430,000	補委 文部科学省
肝前駆細胞と既存薬剤を用いた肝疾患進展抑制治療法の開発	吉治 仁志	第三内科学	1,950,000	補委 文部科学省
NASHの発症進展に関わる生活習慣病態と凝固線溶系を標的とした新規治療の確立	野口 隆一	第三内科学	1,690,000	補委 文部科学省
メッセンジャーRNA投与による新たな心筋症治療法の開発と評価	尾上 健児	第一内科学	1,690,000	補委 文部科学省
APC及びPSIによる第VII因子制御機構の解明及び新規血友病A治療薬の開発	武山 雅博	小児科学	2,340,000	補委 文部科学省
血管内皮細胞による血流応答機構の解明および新規血栓止血制御戦略の構築	志田 泰明	小児科学	2,600,000	補委 文部科学省
低酸素性虚血性脳症に対する新規トロンボモジュリンによる脳保護作用の解明	高橋 幸博	NICU	1,690,000	補委 文部科学省
酸化的DNA損傷サイクロプリンによる色素性乾皮症の神経症状・UVA発症とその予防	小林 信彦	皮膚科学	1,170,000	補委 文部科学省
ウイルス由来ケモカイン受容体に着目したDHSにおけるHHV6再活性化機序の解明	浅田 秀夫	皮膚科学	1,950,000	補委 文部科学省
MRI分子画像を用いたナノDDSによる体内動態の解明から治療効果早期診断への応用	西尾福 英之	放射線医学	1,690,000	補委 文部科学省
非正規分布拡散画像（拡散尖度画像）によるアルツハイマー病の病期診断および予後予測	田岡 俊昭	中央放射線部	1,950,000	補委 文部科学省
進行肝細胞癌に対する薬剤溶出性ビーズを用いた新規肝動脈塞栓術の開発	阪口 浩	放射線医学	2,210,000	補委 文部科学省
クモ膜下出血後の遅発性脳虚血に対するADAMTS13の新規脳保護機能の解明	藤岡 政行	救急医学	2,730,000	補委 文部科学省
悪性神経腫瘍に対する抗てんかん薬を中心とする新規併用療法の開発と臨床応用	中瀬 裕之	脳神経外科学	1,950,000	補委 文部科学省
骨形成細胞シートを併用した骨延長術の有用性に関する実験的研究	面川 庄平	整形外科	1,950,000	補委 文部科学省
全身麻酔薬が糖尿病環境下にある癌細胞の増殖能に与える影響	瓦口 至孝	麻酔科学	2,080,000	補委 文部科学省
非眼科的手術後の眼合併症の発生状況とその誘因に関する検討	川口 昌彦	麻酔科学	1,430,000	補委 文部科学省
ヒト前立腺癌に発現する特異性の高いmicroRNAの有用性についての検討	藤井 智美	病理病態学	2,080,000	補委 文部科学省
羊水特異マーカーSCCを用いた母体への羊水流入の影響に関して	大井 豪一	産婦人科学	2,860,000	補委 文部科学省
癌幹細胞マーカーCD44v9を標的とした難治性卵巣がんの治療戦略	棚瀬 康仁	産婦人科学	3,250,000	補委 文部科学省
卵巣明細胞腺癌に対する新たな転写因子・セリンプロテアーゼ系マーカーの有用性	古川 直人	産婦人科学	1,820,000	補委 文部科学省
軟骨伝導補聴器の音伝導効率の向上に関する研究	西村 忠己	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,820,000	補委 文部科学省
頭頸部癌における糖代謝異常とEMTシグナル活性化に伴う癌浸潤・転移機構の解明	太田 一郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,690,000	補委 文部科学省
脳蘇生におけるアミオダロンの脳保護効果に関する研究	井上 聡己	集中治療部	780,000	補委 文部科学省
即時・早期荷重インプラントの骨結合獲得のための微小動揺の閾値と荷重開始時期の解明	村上 和宏	口腔外科学	2,730,000	補委 文部科学省
BRCA2のDSBを介した温熱誘導細胞死における修復経路の選択機構の解明	梶原 淳久	口腔外科学	1,950,000	補委 文部科学省
繊維集合体における隙間のないユニークなパッキング構造化の研究	大崎 茂芳	皮膚科学	1,300,000	補委 文部科学省
子宮頸管粘液を用いた新規妊娠高血圧症候群予知マーカーの開発	常見 泰平	MFICU	650,000	補委 文部科学省
羊水特異物質を用いた羊水塞栓症診断法の開発	小林 浩	産婦人科学	1,430,000	補委 文部科学省
難治性卵巣明細胞腺癌に対するDNA修復異常に着目した薬剤耐性の克服	赤坂 珠理晃	MFICU	910,000	補委 文部科学省
新規蛍光プローブの化学的ナビゲーションを応用した子宮頸癌円錐切除範囲の決定	岩井 加奈	産婦人科学	1,560,000	補委 文部科学省
コラーゲン線維の配向性を考慮した科学的皮膚移植術への挑戦	桑原 理充	形成外科センター	1,300,000	補委 文部科学省
小児難治性てんかんにおける脳形成異常発生病態解明のための生物化学的研究	神原 崇文	小児科学	1,560,000	補委 文部科学省
新しい音伝導ルート（軟骨伝導）を用いた両耳装用補聴器の開発	下倉 良太	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,170,000	補委 文部科学省
乳歯歯髓由来細胞による唇顎口蓋裂患者の顎顎治療	柳生 貴裕	口腔外科学	650,000	補委 文部科学省
脊髄損傷患者におけるロボットスーツを用いた超急性期からのリハビリテーション介入	重松 英樹	整形外科	780,000	補委 文部科学省
補体調節因子系の解析システムの構築とこれを用いた非典型溶血性尿毒症症候群の診断	吉田 瑤子	輸血部	1,170,000	補委 文部科学省
統合失調症患者に対する認知能力リハビリテーション用ソフトの効果検討	松田 康裕	精神医学	390,000	補委 文部科学省
近赤外線スペクトロスコピィを用いた統合失調症発症予測因子の検討	太田 豊作	精神医学	650,000	補委 文部科学省
多能性幹細胞からの誘導腸管への血管新生能の評価：拒絶のない腸管移植の開発にむけて	植田 剛	消化器・総合外科学	1,300,000	補委 文部科学省
焦点切除術における高周波振動を含むセポフルラン賦活術中皮質脳波の有用性	田村 健太郎	脳神経外科学	1,170,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
光学診断を応用した去勢抵抗性前立腺癌の予後予測	穴井 智	泌尿器科学	1,170,000	補委 文部科学省
モルモットを用いた骨導超音波聴覚の知覚メカニズムと音響負荷の影響についての研究	岡安 唯	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	910,000	補委 文部科学省
即時荷重インプラントにおいて骨結合を阻害する微小動揺の閾値の解明	堀田 聡	口腔外科学	1,300,000	補委 文部科学省
口腔がんにおける酸素中性子捕捉療法後の細胞死メカニズムの解明	山川 延宏	口腔外科学	1,170,000	補委 文部科学省
抗癌剤による味神経障害に起因する味覚障害の発生機序の解明と治療法の開発	青木 久美子	口腔外科学	1,040,000	補委 文部科学省
口腔がんに対するγδT細胞とMICA遺伝子に関連した免疫細胞療法の検討	玉置 盛浩	口腔外科学	1,690,000	補委 文部科学省
変形性膝関節症用硬性装具、CBプレースの効果に関する研究	吉本 清巳	総合医療学	2,210,000	補委 文部科学省
NOTCH1選択的阻害による新たな肝再生療法の可能性	北出 光輝	第三内科学	1,300,000	補委 文部科学省
iPS細胞を用いた培養系・移植実験系による統合失調症の神経細胞病態解明	鳥塚 通弘	精神医学	1,820,000	補委 文部科学省
ユビキチン修飾系を標的とした新たな癌治療法の臨床導入を目的とした研究	右田 和寛	消化器・総合外科学	1,560,000	補委 文部科学省
獲得免疫による再発予防を目指したT細胞不活化制御による新規集学的治療戦略の開発	安田 里司	消化器・総合外科学	1,430,000	補委 文部科学省
超免疫不全マウスを用いた膠芽腫に対する免疫細胞化学療法の開発	松田 良介	脳神経外科学	2,470,000	補委 文部科学省
広範囲骨欠損に対する骨形成細胞シートと血管束移植を用いた新規骨再建法確立の試み	清水 隆昌	整形外科	1,560,000	補委 文部科学省
ミノサイクリンが発達段階の脳における全身麻酔薬の神経毒性を抑制できるか?	西和田 忠	麻酔科学	1,170,000	補委 文部科学省
がん幹細胞と上皮間葉転換による膀胱上皮内癌のBCG療法抵抗性の解明	井上 剛志	泌尿器科学	2,210,000	補委 文部科学省
膀胱癌微小環境中のCXCL1発現と尿中Exosome内CXCL1検出の臨床応用	三宅 牧人	泌尿器科学	1,170,000	補委 文部科学省
骨導超音波を用いた新しい耳鳴マスカ―療法の検討	山下 哲範	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,300,000	補委 文部科学省
ラット下顎骨顎裂モデルを用いた骨芽細胞シートの顎骨再生に関する基礎的研究	前田 雅彦	口腔外科学	1,040,000	補委 文部科学省
MIA gene familyシグナルによる口腔癌の診断・治療の新展開	栗原 都	口腔外科学	2,210,000	補委 文部科学省
分子標的治療薬が表皮自然免疫に及ぼす影響に着目した薬疹の病態解明	御守 里絵	皮膚科学	600,000	補委 文部科学省
最終糖化産物は加齢黄斑変性の病型決定因子となりうるか	辻中 大生	眼科学	500,000	補委 文部科学省
妊娠中に特有な後天性・血栓性微小血管障害症の分子病態とその制御機構解析	藤村 吉博	第三内科学	173,234	補委 文部科学省
トロンボモジュリンによる重症新生児仮死治療の基礎的研究	高橋 幸博	NICU	1,046,704	補委 文部科学省
早期荷重インプラントにおけるオッセオインテグレーション獲得のための微小動揺の閾値	村上 和宏	口腔外科学	759,521	補委 文部科学省
骨導超音波補聴器の実用化に向けた語音聴力の検討	山下 哲範	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	477,624	補委 文部科学省
内在性神経幹細胞を利用した脳静脈血治療の研究	竹島 靖浩	脳神経外科学	1,172,239	補委 文部科学省
科学的根拠に基づく輸血ガイドラインの策定等に関する研究	松本 雅則	輸血部	400,000	補委 厚生労働省
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	藤本 清秀	泌尿器科学	300,000	補委 厚生労働省
血友病とその治療に伴う合併症の克服に関する研究	嶋 緑倫	小児科学	20,000,000	補委 厚生労働省
間接鏡視下自己骨髄間葉系幹細胞移植による間接軟骨欠損修復-多施設共同、非盲検、ランダム化、並行比較試験	田中 康仁	整形外科	3,500,000	補委 厚生労働省
脳卒中急性期医療の地域格差の可視化と縮小に関する研究	奥地 一夫	救急医学	100,000	補委 厚生労働省
成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究	笠原 敬	感染症センター	600,000	補委 厚生労働省
BPSDの症状評価法および治療法の開発と脳内基盤解明を目指した総合的研究	安野 史彦	精神医学	800,000	補委 厚生労働省
血液凝固異常症等に関する研究	藤村 吉博	第三内科学	1,800,000	補委 厚生労働省
非典型用血性尿毒症症候群(aHUS)の全国調査研究	藤村 吉博	第三内科学	220,000	補委 厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	斎藤 能彦	第一内科学	400,000	補委 厚生労働省
呼吸不全に関する調査研究	木村 弘	第二内科学	250,000	補委 厚生労働省
スモンに関する研究調査	上野 聡	神経内科学	700,000	補委 厚生労働省
希少難治性筋疾患に関する調査研究	杉江 和馬	神経内科学	1,900,000	補委 厚生労働省
慢性活動性EBウイルス感染症とその類縁疾患の診療ガイドライン作成と患者レジストリの構築	浅田 秀夫	皮膚科学	1,000,000	補委 厚生労働省
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	浅田 秀夫	皮膚科学	1,000,000	補委 厚生労働省
早老症の実態把握と予後改善を目指す集学的研究	田中 康仁	整形外科	500,000	補委 厚生労働省
難治性平衡機能障害に関する研究調査	北原 紘	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,000,000	補委 厚生労働省
最新のIVRIによる症状緩和についての研究	穴井 洋	放射線医学	1,000,000	補委 厚生労働省
慢性心不全患者における心不全再入院予測モデルの構築と治療法の標準化に関する研究	斎藤 能彦	第一内科学	50,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遺伝性心血管疾患における集中的な遺伝子解析及び原因究明に関する研究	齋藤 能彦	第一内科学	1,500,000	補 委 厚生労働省
日本人糖尿病の合併症重症度評価パネルの確立と重症化予防の為の効果的医療連携体制の構築	齋藤 能彦	第一内科学	300,000	補 委 厚生労働省
日本人糖尿病の合併症重症度評価パネルの確立と重症化予防の為の効果的医療連携体制の構築	緒方 奈保子	眼科学	300,000	補 委 厚生労働省
日本人糖尿病の合併症重症度評価パネルの確立と重症化予防の為の効果的医療連携体制の構築	石井 均	糖尿病学	300,000	補 委 厚生労働省
精神疾患患者に対する早期介入とその体制の確立のための研究	岸本 年史	精神医学	1,000,000	補 委 厚生労働省
治験の実施に関する研究 [エプレレノン]	齋藤 能彦	第一内科学	1,500,000	補 委 公益社団法人 日本医師会 治験促進センター
治験の実施に関する研究 [プリリアントブルーG250]	緒方 奈保子	眼科学	700,000	補 委 公益社団法人 日本医師会 治験促進センター
糖尿病患者における心血管疾患予防の最適化に関する研究	齋藤 能彦	第一内科学	1,000,000	補 委 独立行政法人 国立循環器病研究センター
奔放におけるHEpEFの実態に関する多施設共同調査研究	齋藤 能彦	第一内科学	250,000	補 委 独立行政法人 国立循環器病研究センター
心血管リスクに伴う認知症発症機序の解明とその解決	安野 史彦	精神医学	150,000	補 委 独立行政法人 国立循環器病研究センター
循環器疾患患者を対象とした在宅ヘルスケア・システムの研究開発	小林 浩	産婦人科学	130,000	補 委 総務省
新構造の振動子を用いた世界初の軟骨伝導による補聴器の開発	西村 忠己	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	3,564,000	補 委 経済産業省
妊婦健康管理(見守り)システムの臨床テスト事業	小林 浩	産婦人科学	633,600	補 委 経済産業省
膝回旋不安定性の非侵襲的かつ簡便な定量化技術の開発	小川 宗宏	整形外科	4,146,634	補 委 経済産業省
フワフワ感の解消を目指した“傾斜感覚適性化装置”の開発	和田 佳郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	981,500	補 委 独立行政法人 科学技術振興機構
微量元素をマーカーとする子宮内膜症の悪性化を早期に予測する方法の確立	小林 浩	産婦人科学	1,495,000	補 委 独立行政法人 科学技術振興機構
耳石器(重力センサ)が原因のめまいを診断する平衡機能検査装置の開発	和田 佳郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	780,000	補 委 独立行政法人 科学技術振興機構
軟骨伝導を活用した会話を妨げないアクティブノイズコントロールの開発	下倉 良太	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,700,000	補 委 独立行政法人 科学技術振興機構
きぼうにおける宇宙生命科学研究計画	大西 武雄	放射線腫瘍医学	1,250,000	補 委 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構
自殺未遂者等に心理教育を実施し、退院後に問題解決を図るために適切な社会資源と連携するケースマネージャーを養成し、再発を防止する	岸本 年史	精神医学	6,893,000	補 委 奈良県
伊賀・奥宇陀地域脳神経疾患医療体制整備に関する調査	中瀬 裕之	脳神経外科学	4,000,000	補 委 三重県名張市
難聴者にとって言葉を聞き取りやすい住環境設計に関する基礎研究	下倉 良太	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,080,000	補 委 (公財) LIXIL住生活財団
発達障害におけるオリゴデンドロサイト機能とシナプス形成	牧野段 学	精神医学	1,000,000	補 委 (公財) 先進医薬研究振興財団
タミバロテンのアルツハイマー型認知症に対する探索的臨床試験	安野 史彦	精神医学	1,000,000	補 委 (公財) 乙卯研究所
妊娠合併症の成因に関わるアディポサイトカインと自然炎症因子動態のゲノムワイド解析	成瀬 勝彦	産婦人科学	1,000,000	補 委 (公財) 神澤医学研究振興財団
低酸素処理細胞シートを用いた皮膚・皮弁血流改善技術の確立	吉良 務	整形外科	1,000,000	補 委 (公財) 整形災害外科学研究助成財団
メニエール病の内耳における発症因子に関する研究	阪上 雅治	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	1,000,000	補 委 (公財) 大阪難病研究財団
慢性腎臓病における可溶性Flt-1による動脈硬化症抑制機序に関する検討	松井 勝	内科学第一	200,000	補 委 (公財) 日本応用酵素協会
iPS細胞を用いた培養・移植実験系による一卵性双生児統合失調症不一致例解析	鳥塚 通弘	精神医学	2,000,000	補 委 (公財) 武田科学振興財団
凝固第V因子関連血栓症の凝血学的評価と血栓発症機序の基礎研究	野上 恵嗣	小児科学	1,000,000	補 委 (公財) 先進医薬研究振興財団
iPS細胞を用いた培養・移植実験系による一卵性双生児統合失調症不一致例解析	鳥塚 通弘	精神医学	1,000,000	補 委 (公財) 先進医薬研究振興財団

小計 31

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

計 165

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Sakagami M, Kitahara T, Ito T, Ota I, Nishimura T, Nishimura A, Otsuka S, Yamanaka T.	Department of Otolaryngology – Head and Neck Surgery, Nara Medical University	Effects of posterior tympanotomy with steroids at round window on hearing recovery after revision surgery for intractable Meniere's disease.	Acta otolaryngologica. 135(7), 667–72, 2015
2	Taoka T(1), Fujioka M(2), Sakamoto M(3), Miyasaka T(3), Akashi T(3), Ochi T(3), Hori S(3), Uchikoshi M(4), Xu J(5), Kichikawa K(3)	(1)Department of Radiology., Nara Medical University (2)Critical Care Medicine, Nara Medical University (3)Department of Radiology, Nara Medical University (4)Siemens Japan KK (5)Siemens Medical Solutions USA	Time course of axial and radial diffusion kurtosis of white matter infarctions: period of pseudonormalization.	AJNR. American journal of neuroradiology. 35(8), 1509–14, 2014
3	Ushiroda J, Inoue S, Kirita T, Kawaguchi M	Department of Anesthesiology, Nara Medical University	A comparison of airway dimensions, measured by acoustic reflectometry and ultrasound before and after general anaesthesia.	Anaesthesia. 69(12), 1355–63, 2014
4	Yamamuro K(1), Makinodan M(1), Ota T(1), Iida J(2), Kishimoto T(1).	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University School of Medicine (2)Faculty of Nursing, Nara Medical University School of Medicine	Paliperidone extended release for the treatment of pediatric and adolescent patients with Tourette's disorder.	Annals of general psychiatry. 13, 13, 2014
5	Yamamuro K(1), Yoshino H(1), Tamura K(2), Ota T(1), Kishimoto T(1)	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University School of Medicine (2)Department of Neurosurgery, Nara Medical University	Levetiracetam improves disinhibitory behavior in nonconvulsive status epilepticus.	Annals of general psychiatry. 13(1), 32, 2014
6	Nishigori N, Koyama F, Nakagawa T, Nakamura S, Ueda T, Inoue T, Kawasaki K, Obara S, Nakamoto T, Fujii H, Nakajima Y	Department of Surgery, Nara Medical University	Visualization of Lymph/Blood Flow in Laparoscopic Colorectal Cancer Surgery by ICG Fluorescence Imaging (Lap-IGFI).	Annals of surgical oncology. 2015
7	Matsumoto S, Takayama T, Wakatsuki K, Tanaka T, Migita K, Ito M, Nakade H, Kunishige T, Nakajima Y	Department of Surgery, Nara Medical University School of Medicine	Preoperative Cardiac Risk Assessment and Surgical Outcomes of Patients with Gastric Cancer.	Annals of surgical oncology. 2015

小計

8	Inoue T(1), Sho M(1), Yasuda S(1), Nishiwada S(1), Nakamura S(1), Ueda T(1), Nishigori N(1), Kawasaki K(1), Obara S(1), Nakamoto T(1), Koyama F(2), Fujii H(2), Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Endoscopy and Ultrasound, Nara Medical University	HVEM expression contributes to tumor progression and prognosis in human colorectal cancer.	Anticancer research. 35(3), 1361-7, 2015
9	Hirose T, Kawata T, Hamada Y, Tabayashi N, Abe T, Taniguchi	Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Nara Medical University School of Medicine	Aortic valve replacement in a patient with left ventricular noncompaction.	Asian cardiovascular & thoracic annals. 2014
10	Kawaguchi T, Tojo T, Yasukawa M, Watanabe T, Kawai N, Taniguchi S	Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, Nara Medical University School of Medicine	Surgical intervention without lung resection for Pryce type I sequestration.	Asian cardiovascular & thoracic annals. 23(7), 872-4, 2015
11	Nishimura T(1), Hosoi H(2), Saito O(1), Miyamae R(1), Shimokura R(1), Matsui T(3), Yamanaka T(1), Kitahara T(1), Levitt H(4).	(1)Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Nara Medical University (2)Nara Medical University (3)Department of Life Science Center of Tsukuba Advanced Research Alliance, University of Tsukuba (4)Professor Emeritus, The City University of New York, United States	Cartilage conduction efficiently generates airborne sound in the ear canal.	Auris, nasus, larynx. 42(1), 15-9, 2015
12	Shinohara Y(1), Kumai T(1), Higashiyama I(1), Tanaka Y(1), Takakura Y(1), Nishi M(2), Azuma C(2), Minami T(3), Tohno Y(4)	(1)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Anatomy and Cell Biology, Nara Medical University (3)Department of Life Science, School of Science and Engineering, Kinki University (4)Department of Anatomy, Faculty of Medicine, Chiang Mai University	Differences in elements between intact and disrupted human ligamenta capitum femorum.	Biological trace element research. 160(2), 161-8, 2014
13	Hu Y(1), Yamashita K(1), Tabayashi N(1), Abe T(1), Hayata Y(1), Hirose T(1), Hiraga S(1), Tojo T(1), Suzuki S(2), Ikada Y(3), Taniguchi S(1).	(1)Department of Thoracic and Cardiovascular Surgery, School of Medicine, Nara Medical University (2)Biomedical Engineering, School of Medicine, Nara Medical University (3)Biomedical Engineering, School of Medicine, Nara Medical University, Emeritus Professor of Kyoto University	Gelatin sealing sheet for arterial hemostasis and anti-adhesion in vascular surgery: a dog model study.	Bio-medical materials and engineering. 25(2), 157-68, 2015

小計

14	Sakamoto Y, Kido A, Inoue K, Sakurai G, Hashiuchi T, Munemoto M, Tanaka Y	Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University	In vivo microstructural analysis of the humeral greater tuberosity in patients with rotator cuff tears using multidetector row computed tomography.	BMC musculoskeletal disorders. 15, 351, 2014
15	Tomioka A, Tanaka N, Yoshikawa M, Miyake M, Anai S, Chihara Y, Okajima E, Hirayama A, Hirao Y, Fujimoto K.	Department of Urology, Nara Medical University	Nadir PSA level and time to nadir PSA are prognostic factors in patients with metastatic prostate cancer.	BMC urology. 14 33, 2014
16	Nakai Y, Anai S, Kuwada M, Miyake M, Chihara Y, Tanaka N, Hirayama A, Yoshida K, Hirao Y, Fujimoto K	Department of Urology, Nara Medical University	Photodynamic diagnosis of shed prostate cancer cells in voided urine treated with 5-aminolevulinic acid.	BMC urology. 14 59, 2014
17	Tanaka N(1), Asakawa I(2), Hasegawa M(2), Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Radiation Oncology, Nara Medical University	Urethral toxicity after LDR brachytherapy: experience in Japan.	Brachytherapy. 14(2), 131-5, 2015
18	Fukuoka Y, Tanaka T, Nishiofuku H, Sato T, Kichikawa K	Department of Radiology and IVR Center, Nara Medical University	Compatibility of an Ultraselective Microcatheter and Epirubicin Loaded 300-500- μ m DC Bead in Ex Vivo Study.	Cardiovascular and interventional radiology. 38(5), :1284-7, 2015
19	Mizuno R(1), Yamagami ST(2), Higashi T(2), Nakada Y(2), Takeda Y(2), Okayama S(2), Fujimoto S(3), Saito Y(2)	(1)Central Clinical Laboratory, Nara Medical University (2)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University (3)Center for Education Development, Nara Medical University	Major non-cardiac surgery is a risk factor for rapid hemodynamic progression of non-rheumatic aortic stenosis.	Circulation journal. 79(4), 867-72, 2015
20	Ueda T, Kawakami R, Nishida T, Onoue K, Soeda T, Okayama S, Takeda Y, Watanabe M, Kawata H, Uemura S, Saito Y	First Department of Internal Medicine, Nara Medical University.	Plasma renin activity is a strong and independent prognostic indicator in patients with acute decompensated heart failure treated with renin-angiotensin system inhibitors.	Circulation journal. 79(6), 1307-14, 2015
21	Watanabe M(1), Uemura S, Sugawara Y, Ueda T, Soeda T, Takeda Y, Kawata H, Kawakami R, Saito Y	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University	Side branch complication after a single-stent crossover technique: prediction with frequency domain optical coherence tomography.	Coronary artery disease. 25(4), 321-9, 2014

小計

22	Ueda T(1), Uemura S, Watanabe M, Sugawara Y, Soeda T, Okayama S, Takeda Y, Kawata H, Kawakami R, Saito Y	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University	Colocalization of thin-cap fibroatheroma and spotty calcification is a powerful predictor of procedure-related myocardial injury after elective coronary stent implantation.	Coronary artery disease. 25(5), 384-91, 2014
23	Mizuta K(1), Sakabe M(1), Hashimoto A(1), Ioka T(1), Sakai C(1), Okumura K(1), Hattamaru M(1,2), Fujita M(1), Araki M(1), Somekawa S(3), Saito Y(3), Nakagawa O(1)	(1)Laboratory for Cardiovascular System Research, Nara Medical University Advanced Medical Research Center (2)Department of Internal Medicine, Tokyo Women's Medical University Medical Center East (3)The First Department of Internal Medicine, Nara Medical University	Impairment of endothelial- mesenchymal transformation during atrioventricular cushion formation in Tmem100 null embryos.	Developmental dynamics. 24(1), 31-42, 2015
24	Namisaki T(1,2), Schaeffeler E(1), Fukui H(2), Yoshiji H(2), Nakajima Y(3), Fritz P(1), Schwab M(1,4), Nies AT(1)	(1)Dr. Margarete Fischer-Bosch Institute of Clinical Pharmacology, Stuttgart, and University of Tübingen (2)Third Department of Internal Medicine, Nara Medical University (3)Department of Surgery, Nara Medical University (4)Department of Clinical Pharmacology, Institute of Experimental and Clinical Pharmacology and Toxicology, University Hospital, Tübingen	Differential expression of drug uptake and efflux transporters in Japanese patients with hepatocellular carcinoma.	Drug metabolism and disposition. 42(12), 2033-40, 2014
25	Hokuto D, Sho M, Yamato I, Yasuda S, Obara S, Nomi T, Nakajima Y	Department of Surgery, Nara Medical University	Clinical impact of herpesvirus entry mediator expression in human hepatocellular carcinoma.	European journal of cancer. 51(2), 157-65, 2015
26	Shobatake C(1), Miyagawa F(1), Fukumoto T(1), Hirai T(2), Kobayashi N(1), Asada H(1).	(1)Department of Dermatology, Nara Medical University (2)Department of Endoscopy and Ultrasound, Nara Medical University	Usefulness of ultrasonography for rapidly diagnosing cutaneous sinus tracts of dental origin.	European journal of dermatology. 24(6), 683-7, 2014
27	Kataoka H(1), Kiriya T, Kawaguchi T, Sawa N, Sugie K, Horikawa H, Tojo T, Ueno S	Department of Neurology, Nara Medical University	Preoperative low-dose steroid can prevent respiratory insufficiency after thymectomy in generalized myasthenia gravis.	European neurology. 72(3- 4), 228-33, 2014
28	Takehisa Y(1), Tanaka Y, Hironaka Y, Shida Y, Nakase H	Department of Neurosurgery, Nara Medical University School of Medicine	Visualization of vascular structure of spinal hemangioblastoma using intraoperative indocyanine green videoangiography and temporary feeder occlusion.	European spine journal. 24 Suppl 4, S585-9, 2015

29	Hasegawa T(1), Okamoto M, Masuda N, Ueda T, Ogata N	Department of Ophthalmology, Nara Medical University	Relationship between foveal microstructures and visual outcomes in eyes with resolved central serous chorioretinopathy.	Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology. 253(3), 343-50, 2015
30	Shima M(1), Hermans C(2), de Moerloose P(3)	(1)Department of Pediatrics, Nara Medical University (2)Division of Hematology, Cliniques Universitaires Saint-Luc (3)Division of Angiology and Haemostasis, University Hospital of Geneva	Novel products for haemostasis.	Haemophilia. 20 Suppl 4, 29-35, 2014
31	Ogiwara K(1), Nogami K(1), Hosokawa K(2), Ohnishi T(2), Matsumoto T(1), Shima M(1)	(1)Department of Pediatrics, Nara Medical University (2)Research Institute, Fujimori Kogyo Co.	Comprehensive evaluation of haemostatic function in von Willebrand disease patients using a microchip-based flow chamber system.	Haemophilia. 21(1), 71-80, 2015
32	Nishimura T(1), Okayasu T(1), Saito O(1), Shimokura R(1), Yamashita A(1), Yamanaka T(1), Hosoi H(2), Kitahara T(1).	(1)Department of Otolaryngology - Head & Neck Surgery, Nara Medical University (2)Nara Medical University	An examination of the effects of broadband air-conduction masker on the speech intelligibility of speech- modulated bone-conduction ultrasound.	Hearing research. 317, 41-9, 2014
33	Shimomura H(1), Sasahira T, Yamanaka Y, Kurihara M, Imai Y, Tamaki S, Yamakawa N, Shirone N, Hasegawa M, Kuniyasu H, Kirita T	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nara Medical University	[18F]fluoro-2-deoxyglucose- positron emission tomography for the assessment of histopathological response after preoperative chemoradiotherapy in advanced oral squamous cell carcinoma.	International journal of clinical oncology. 20(2), 308-16, 2015
34	Matsuoka K(1), Yasuno F(1,2), Taguchi A(3,4), Yamamoto A(2), Kajimoto K(3), Kazui H(5), Kudo T(5), Sekiyama A(6), Kitamura S(1), Kiuchi K(1), Kosaka J(1), Kishimoto T(1), Iida H(2), Nagatsuka K(3)	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University (2)Department of Investigative Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (3)Department of Neurology, National Cerebral and Cardiovascular Center (4)Institute of Biomedical Research and Innovation, Foundation for Biomedical Research and Innovation (5)Department of Neuropsychiatry, Osaka University Medical School (6)Department of Brain Science, Osaka City University Graduate School of Medicine	Delayed atrophy in posterior cingulate cortex and apathy after stroke.	International journal of geriatric psychiatry. 30(6), 566-72, 2015

小計

35	Yasuno F(1),(2), Kazui H(3), Morita N(4), Kajimoto K(5), Ihara M(5), Taguchi A(5),(6), Yamamoto A(2), Matsuoka K(1), Kosaka J(1), Kudo T(7), Iida H(2), Kishimoto T(1).	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University (2)Investigative Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (3)Department of Neuropsychiatry, Osaka University Medical School (4)Department of Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (5)Department of Neurology, National Cerebral and Cardiovascular Center (6)Institute of Biomedical Research and Innovation, Foundation for Biomedical Research and Innovation (7)Department of Psychiatry, Osaka University Health Care Center	Low amyloid-beta deposition correlates with high education in cognitively normal older adults: a pilot study.	International journal of geriatric psychiatry. 30(9), 919-26, 2015
36	Imanaka S, Naruse K, Akasaka J, Shigemitsu A, Iwai K, Kobayashi H	Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University	Vaginal delivery after placental abruption and intrauterine fetal death, including failed cases.	International journal of gynaecology and obstetrics. 126(2), 180-1, 2014
37	Shigetomi H(1), Sudo T(2), Shimada K(3), Uekuri C(1), Tsuji Y(1), Kanayama S(1), Naruse K(1), Yamada Y(4), Konishi N(2), Kobayashi H(1)	(1)Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University (2)Section of Translational Research, Hyogo Cancer Center (3)Department of Pathology, Nara Medical University (4)Department of Obstetrics and Gynecology, Yao Municipal Hospital	Inhibition of cell death and induction of G2 arrest accumulation in human ovarian clear cells by HNF-1beta transcription factor: chemosensitivity is regulated by checkpoint kinase CHK1.	International journal of gynecological cancer. 24(5), 838-43, 2014
38	Matsumoto T, Nogami K, Okuda M, Shima M	Department of Pediatrics, Nara Medical University	Optimization of the automated, CS-2000i method for measuring low levels of von Willebrand factor ristocetin cofactor activity (VWF:RCo).	International journal of hematology. 101(2), 126-32, 2015

小計

4

39	Yoshioka A(1), Ishii E(2), Ueno T(3), Usami I(4), Kobayashi M(5), Kobayashi R(6), Sotomatsu M(7), Shirahata A(8), Suzuki T(9), Taki M(10), Ishida Y(11), Matsushita T(12), Shima M(13), Nogami K(13), Sakai M(14), Kigasawa H(15), Fukutake K(9)	(1)Nara Medical University, Emeritus Professor (2)Division of Hematology/Oncology, Nagano Prefectural Suzaka Hospital (3)Division of Pediatrics, Ayabe City Hospital (4)Division of Pediatrics, Hyogo Prefectural Tsukaguchi Hospital (5)Department of Pediatrics, Hiroshima University School of Medicine (6)Division of Pediatrics, Sapporo Hokuyu Hospital (7)Division of Hematology/Oncology, Gunma Children's Medical Center (8)Kitakyushu Yahata Higashi Hospital (9)Department of Clinical Laboratory Medicine, Tokyo Medical University (10)Department of Pediatrics, St. Marianna University School of Medicine, Yokohama City Seibu Hospital (11)Division of Pediatrics, Ehime Prefectural Central Hospital (12)Division of Blood Transfusion, Nagoya University Hospital (13)Department of Pediatrics, Nara Medical University (14)Department of Pediatrics, University of Occupational and Environmental Health (15)Division of Hematology/Oncology, Kanagawa Children's Medical Center	The International Immune Tolerance Induction Study and its follow-up study on Japanese hemophilia A patients with inhibitors.	International journal of hematology. 101(4), 362-8, 2015
40	Ochi T(1), Taoka T, Miyasaka T, Wada T, Sakamoto M, Hori S, Kichikawa K	(1)Department of Radiology, Nara Medical University	"Cerebellar peduncle quarter notes" formed by the superior and middle cerebellar peduncles: comparison with a diffusion tensor study of spinocerebellar degeneration.	Japanese journal of radiology. 33(4), 210-5, 2015
41	Inoue S, Abe R, Tanaka Y, Kawaguchi M	Division of Intensive Care, Nara Medical University	Is an urban legend true in the teaching hospital that "you will get hurt if you go to hospital at the beginning of the fiscal year"?	Journal of anesthesia. 29(1), 122-5, 2015
42	Yoshimura K, Hayashi H, Tanaka Y, Nomura Y, Kawaguchi M	Department of Anesthesiology, Nara Medical University	Evaluation of predictive factors associated with increased intraocular pressure during prone position spine surgery.	Journal of anesthesia. 29(2), 170-4, 2015
43	Naito Y, Tanaka Y, Sasaoka N, Iwata T, Fujimoto Y, Okamoto N, Inoue S, Kawaguchi M	Department of Anesthesiology, Nara Medical University	Feasibility, reliability, and validity of the Japanese version of the Postoperative Quality of Recovery Scale: a first pilot study.	Journal of anesthesia. 29(3), 463-6, 2015
44	Kawaguchi M(1), Tanaka Y(1), Furuya H(2)	(1)Department of Anesthesiology, Nara Medical University (2)Nara Medical University Hospital	Improving the safety and quality of surgical patient care: what can we learn from quality management of industries?	Journal of anesthesia. 29(4), 485-6, 2015

小計

45	Shimomura T(1), Kawakami M(2), Okuda H(3), Tatsumi K(3), Morita S(3), Nochioka K(4), Kirita T(2), Wanaka A(3)	(1)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University (2)Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nara Medical University (3)Department of Anatomy and Neurosciences, Nara Medical University (4)Department of Ophthalmology, Nara Medical University	Retinoic acid regulates Lhx8 expression via FGF-8b to the upper jaw development of chick embryo.	Journal of bioscience and bioengineering. 119(3), 260-6, 2015
46	Takeda M(1), Kasai T(2), Enomoto Y(1), Takano M(1), Morita K(1), Nakai T(1), Iizuka N(3), Maruyama H(4), Ohbayashi C(1)	(1)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University (2)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University/Department of Pathology and Oncology, University of Occupational and Environmental Health, (3)Department of Laboratory Medicine and Pathology, Kishiwada City Hospital (4)Department of Pathology, Hoshigaoka Medical Center	Comparison of genomic abnormality in malignant mesothelioma by the site of origin.	Journal of clinical pathology. 67(12), 1038-43, 2014
47	Eura N, Sugie K, Kiriyaama T, Ueno S	Department of Neurology, Nara Medical University	Characteristic dysphagia as a manifestation of dermatomyositis on oropharyngeal muscle imaging.	Journal of clinical rheumatology. 21(2), 105-6, 2015
48	Park K(1), Ommori R(2), Imoto K(2), Asada H(2)	(1)Department of Dermatology, Yamato Takada Municipal Hospital; Department of Dermatology, Nara Medical University (2)Department of Dermatology, Nara Medical University	Epidermal growth factor receptor inhibitors selectively inhibit the expressions of human beta-defensins induced by Staphylococcus epidermidis.	Journal of dermatological science. 75(2), 94-9, 2014
49	Sho M(1), Murakami Y(2), Motoi F(3), Sato S(4), Matsumoto I(5), Kawai M(6), Honda G(7), Uemura K(2), Yanagimoto H(4), Kurata M(7), Fukumoto T(5), Akahori T(1), Kinoshita S(1), Nagai M(1), Nishiwada S(1), Unno M(3), Yamaue H(6), Nakajima Y(1)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Surgery, Institute of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University (3)Division of Gastroenterological Surgery, Department of Surgery, Tohoku University (4)Department of Surgery, Kansai Medical University (5)Division of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery, Department of Surgery, Kobe University Graduate School of Medicine (6)Second Department of Surgery, Wakayama Medical University (7)Department of Surgery, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital	Postoperative prognosis of pancreatic cancer with para- aortic lymph node metastasis: a multicenter study on 822 patients.	Journal of gastroenterology. 50(6), 694-702, 2015

小計

50	Ogawa T(1), Kasahara K(1), Ikawa K(2), Shigeta J(3), Komatsu Y(1), Kuruno N(1), Uno K(1), Maeda K(1), Mikasa K(1).	(1)Center for Infectious Diseases, Nara Medical University (2)Department of Clinical Pharmacotherapy, Hiroshima University (3)Department of Pharmacy, Nara Medical University Hospital	Continuous ampicillin infusion as an alternative to intermittent infusion for adult inpatients: a case series.	24972584
51	Ogawa T(1), Matsumoto K(2), Tsuji moto K(1), Hishiya N(1), Yamada Y(1), Uno K(1), Kasahara K(1), Maeda K(1), Nario K(3), Mikasa K(1), Morita K(2)	(1)Center for Infectious Diseases, Nara Medical University (2)Department of Clinical Pharmaceutics, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Doshisha Women's College of Liberal Arts (3)Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Nara Medical University	Chronic invasive sinus and intracerebral aspergillosis controlled by combination therapy with micafungin and a daily dose of 400 mg itraconazole oral solution.	Journal of infection and chemotherapy. 21(2), 134-7, 2015
52	Ito F, Akasaka J, Koike N, Uekuri C, Shigemitsu A, Kobayashi H	Department of Obstetrics and Gynecology, Nara Medical University	Incidence, diagnosis and pathophysiology of amniotic fluid embolism.	Journal of obstetrics and gynaecology. 34(7), 580-4, 2014
53	Yagyuu T(1,2), Obayashi C(2), Ueyama Y(1), Takano M(2), Tanaka Y(3), Kawaguchi M(3), Takeda M(2), Kasai T(4), Kirita T(1).	(1)Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nara Medical University (2)Department of Diagnostic Pathology, Nara Medical University (3)Department of Anesthesiology, Nara Medical University (4)Department of Pathology and Oncology, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health	Multivariate analyses of Ki-67, cytokeratin 13 and cytokeratin 17 in diagnosis and prognosis of oral precancerous lesions.	Journal of oral pathology & medicine. 44(7), 523-31, 2015
54	Iida A(1), Omokawa S(1), Moritomo H(2), Omori S(3), Kataoka T(3), Aoki M(4), Wada T(5), Fujimiya M(6), Tanaka Y(1)	(1)Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Physical Therapy, Osaka Yukioka College of Health Science (3)Department of Orthopedics, Osaka University School of Medicine (4)Department of Orthopedics, Sapporo Daiichi Hospital (5)Department of Orthopedics, Sapporo Medical University (6)Department of Anatomy, Sapporo Medical University	Effect of wrist position on distal radioulnar joint stability: a biomechanical study.	Journal of orthopaedic research. 32(10), 1247-51, 2014

小計

55	Kumai T(1), Muneta T(2), Tsuchiya A(3), Shiraishi M(4), Ishizaki Y(5), Sugimoto K(6), Samoto N(6), Isomoto S(6), Tanaka Y(1), Takakura Y(7)	(1)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Orthopaedic Surgery, Tokyo Medical and Dental University Hospital of Medicine (3)Funabashi Orthopaedic Sports Medicine Center (4)Shiraishi Orthopaedic Pain Clinic (5)Department of Orthopaedic Surgery, Higashiosaka City General Hospital (6)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Prefectural Nara Hospital (7)Nishi Nara Central Hospital	The short-term effect after a single injection of high-molecular-weight hyaluronic acid in patients with enthesopathies (lateral epicondylitis, patellar tendinopathy, insertional Achilles tendinopathy, and plantar fasciitis): a preliminary study.	Journal of orthopaedic science. 19(4), 603-11, 2014
56	Inoue K(1), Suenaga N(2), Oizumi N(2), Sakamoto Y(1), Sakurai G(3), Miyoshi N(4), Taniguchi N(5), Tanaka Y(1)	(1)Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University (2)Upper Extremity Center of Joint Replacement and Endoscopic Surgery, Hokushin Hospital (3)Department of Orthopaedic Surgery, Nishinarachuo Hospital (4)Department of Orthopedic Surgery, Asahikawa Medical College (5)Department of Orthopaedic Surgery, University of Miyazaki	Suprascapular notch variations: a 3DCT study.	Journal of orthopaedic science. 19(6), 920-4, 2014
57	Morimoto C, Nishimura T, Hosoi H, Saito O, Fukuda F, Shimokura R, Yamanaka T	Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Nara Medical University	Sound transmission by cartilage conduction in ear with fibrotic aural atresia.	Journal of rehabilitation research and development. 51(2), 325-32, 2014
58	Nakano K, Murata K, Omokawa S, Nakanishi Y, Shimizu T, Kira T, Onishi T, Tanaka Y.	Department of Orthopaedic Surgery, Nara Medical University	Dynamic analysis of the ulnar nerve in the cubital tunnel using ultrasonography.	Journal of shoulder and elbow surgery. 23(7), 933-7, 2014
59	Nakagawa I(1), Park HS(1), Hironaka Y(1), Wada T(2), Kichikawa K(2), Nakase H(1)	(1)Department of Neurosurgery, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Medical University	Cervical spinal epidural arteriovenous fistula with coexisting spinal anterior spinal artery aneurysm presenting as subarachnoid hemorrhage-- case report.	Journal of stroke and cerebrovascular diseases. 23(10), e461-5, 2014

小計

60	Ueda T(1), Kawakami R(1), Sugawara Y(1), Okada S(1), Nishida T(1), Onoue K(2), Soeda T(1), Okayama S(1), Takeda Y(1), Watanabe M(1), Kawata H(1), Uemura S(1), Saito Y(1,2)	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Department of Regulatory Medicine for Blood Pressure, Nara Medical University	Worsening of renal function during 1 year after hospital discharge is a strong and independent predictor of all-cause mortality in acute decompensated heart failure.	Journal of the American Heart Association. 3(6), e001174, 2014
61	Matsui M(1), Uemura S(1), Takeda Y(1), Samejima KI(1,3), Matsumoto T(1), Hasegawa A(1), Tsushima H(3), Hoshino E(4), Ueda T(1), Morimoto K(1), Okamoto K(1), Okada S(1), Onoue K(1), Okayama S(1), Kawata H(1), Kawakami R(1), Maruyama N(5), Akai Y(1), Iwano M(6), Shiiki H(7), Saito Y(1,2); NARA-CKD Investigators	(1)First Department of Internal Medicine, Nara Medical University (2)Department of Regulatory Medicine for Blood Pressure, Nara Medical University (3)Department of Medicine, Ohyodo Town Hospital (4)Department of Medicine, Saisei-kai Nara City Hospital (5)Department of Cardiology, Nara City General Hospital (6)Department of Nephrology, Fukui University (7)Department of Medicine, Uda City General Hospital	Placental Growth Factor as a Predictor of Cardiovascular Events in Patients with CKD from the NARA-CKD Study.	Journal of the American Society of Nephrology. 2015
62	Matsumoto T, Nogami K, Shima M	Department of Pediatrics, Nara Medical University	Coagulation function and mechanisms in various clinical phenotypes of patients with acquired factor V inhibitors.	Journal of thrombosis and haemostasis. 12(9), 1503-12, 2014
63	Tanaka T(1), Nishiofuku H(1), Hukuoka Y(1), Sato T(1), Masada T(1), Takano M(2), Gilbert CW(3), Obayashi C(2), Kichikawa K(1)	(1)Department of Radiology, Nara Medical University (2)Diagnostic Pathology, Nara Medical University (3)CeloNova BioSciences, Inc.	Pharmacokinetics and antitumor efficacy of chemoembolization using 40 microm irinotecan-loaded microspheres in a rabbit liver tumor model.	Journal of vascular and interventional radiology : JVIR. 25(7), 1037-1044.e2, 2014
64	Ochi T(1,2), Taoka T(1), Matsuda R(3), Sakamoto M(1), Akashi T(1), Tamamoto T(4), Sugimoto T(3), Sakaguchi H(2), Hasegawa M(4), Nakase H(3), Kichikawa K(1)	(1)Department of Radiology, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Prefectural Mimuro Hospital (3)Department of Neurosurgery, Nara Medical University (4)Department of Radiation Oncology, Nara Medical University	Comparison between two separate injections and a single injection of double-dose contrast medium for contrast-enhanced MR imaging of metastatic brain tumors.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS. 13(4), 221-9, 2014

小計

65	Sugiura T, Yamamoto K, Kawakami M, Horita S, Murakami K, Kirita T	Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nara Medical University	Influence of bone parameters on peri-implant bone strain distribution in the posterior mandible.	Medicina oral, patologia oral y cirugia bucal. 20(1), e66-73, 2015
66	Kawai H(1), Nakagawa I(1), Nishimura F(1), Motoyama Y(1), Park YS(1), Nakamura M(1), Nakase H(1), Suzuki S(2), Ikada Y(2)	(1)Department of Neurosurgery, Nara Medical University (2)Department of Biomedical Engineering, Nara Medical University	Usefulness of a new gelatin glue sealant system for dural closure in a rat durotomy model.	Neurologia medico- chirurgica. 54(8), 640-6, 2014
67	Onishi T(1), Omokawa S(1), Shimizu T(1), Sananpanich K(2), Tanaka Y(1), Kira T(1), Murata K(3), Honoki K(1)	(1)Department of Orthopedic Surgery, Nara Medical University (2)Department of Orthopedic Surgery, Chiangmai Medical University (3)Department of Orthopedic Surgery, Nara Municipal Hospital	Biceps femoris musculocutaneous flap for reconstruction of refractory ulceration at the popliteal fossa.	25426356
68	Nishimura T(1), Hosoi H(2), Saito O(1), Miyamae R(1), Shimokura R(1), Yamanaka T(1), Kitahara T(1), Levitt H(3)	(1)Department of Otolaryngology-Head and Neck surgery, Nara Medical University (2)Nara Medical University (3)The City University of New York	Cartilage conduction is characterized by vibrations of the cartilaginous portion of the ear canal.	PLoS one. 10(3), e0120135, 2015
69	Yamanaka T(1), Hosoi H(1), Murai T(1), Kobayashi T(1), Inada Y(2), Nakamura T(3)	(1)Department of Otolaryngology-Head and Neck Surgery, Nara Medical University School of Medicine (2)Department of Orthopedic surgery, Inada Hospital (3)Department of Bioartificial Organs. Institute for Frontier Medical Science, Kyoto University	Regeneration of the nerves in the aeral cavity with an artificial nerve conduit - reconstruction of chorda tympani nerve gaps-	PLoS one. 9(4), e92258, 2014

小計

70	<p>Kiuchi K(1), Kitamura S(2), Taoka T(3), Yasuno F(4), Tanimura M(5), Matsuoka K(4), Ikawa D(6), Toritsuka M(6), Hashimoto K(6), Makinodan M(6), Kosaka J(6), Morikawa M(7), Kichikawa K(3), Kishimoto T(4)</p>	<p>(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University; Medical Center for Dementia, Nara Medical University; Sakai City Mental Health Center (2)Department of Psychiatry, Nara Medical University; Medical Center for Dementia, Nara Medical University; Molecular Imaging Center, National Institute of Radiological Sciences (3)Department of Radiology, Nara Medical University (4)Department of Psychiatry, Nara Medical University; Medical Center for Dementia, Nara Medical University (5)Faculty of Psychology, Doshisha University (6)Department of Psychiatry, Nara Medical University (7)Department of Psychiatry, Nara Medical University; Mie Prefectural Mental Care Center</p>	<p>Gray and white matter changes in subjective cognitive impairment, amnesic mild cognitive impairment and Alzheimer's disease: a voxel-based analysis study.</p>	<p>PloS one. 9(8), e104007, 2014</p>
71	<p>Matsui H(1), Fujimoto N(2), Sasakawa N(3), Ohinata Y(4), Shima M(5), Yamanaka S(6), Sugimoto M(1), Hotta A(7)</p>	<p>(1)Department of Regulatory Medicine for Thrombosis, Nara Medical University (2)Department of Reprogramming Science, Center for iPS Cell Research and Application (CiRA), Kyoto University; iCeMS, Kyoto University (3)Department of Reprogramming Science, Center for iPS Cell Research and Application (CiRA), Kyoto University (4)Life Science Experimental Facility, Department of Biotechnology, Faculty of life and Environmental Sciences, University of Yamanashi; PRESTO, Japan Science and Technology Agency (JST) (5)Pediatrics, Nara Medical University (6)Department of Reprogramming Science, Center for iPS Cell Research and Application (CiRA), Kyoto University; iCeMS, Kyoto University; Gladstone Institute of Cardiovascular Disease (7)Department of Reprogramming Science, Center for iPS Cell Research and Application (CiRA); iCeMS, Kyoto University; PRESTO, Japan Science and Technology Agency (JST),</p>	<p>Delivery of full-length factor VIII using a piggyBac transposon vector to correct a mouse model of hemophilia A.</p>	<p>PloS one. 9(8), e104957, 2014</p>
72	<p>Ota T(1), Iida J(2), Nakanishi Y(1), Sawada S(3), Matsuura H(4), Yamamuro K(1), Ueda S(1), Uratani M(3), Kishimoto N(1), Negoro H(5), Kishimoto T(1)</p>	<p>(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University (2)Faculty of Nursing, Nara Medical University (3)Department of Psychiatry, Nara Prefectural General Rehabilitation Center (4)Department of Psychiatry, Tenri Hospital (5)Department of Education, Nara University of Education</p>	<p>Increased prefrontal hemodynamic change after atomoxetine administration in pediatric attention-deficit/hyperactivity disorder as measured by near-infrared spectroscopy.</p>	<p>Psychiatry and clinical neurosciences. 69(3), 161-70, 2015</p>

小計

73	Yasuno F(1), Taguchi A(2), Yamamoto A(3), Kajimoto K(4), Kazui H(5), Sekiyama A(6), Matsuoka K(7), Kitamura S(7), Kiuchi K(7), Kosaka J(7), Kishimoto T(7), Iida H(3), Nagatsuka K(4)	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University; Department of Investigative Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (2)Department of Neurology, National Cerebral and Cardiovascular Center; Institute of Biomedical Research and Innovation, Foundation for Biomedical Research and Innovation (3)Department of Investigative Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (4)Department of Neurology, National Cerebral and Cardiovascular Center (5)Department of Neuropsychiatry, Osaka University Medical School (6)Department of Brain Science, Osaka City University Graduate School of Medicine (7)Department of Psychiatry, Nara Medical University	Microstructural abnormalities in white matter and their effect on depressive symptoms after stroke.	Psychiatry research. 223(1), 9-14, 2014
74	Kitamura S(1), Yasuno F(1,2), Yamamoto A(2), Kazui H(4), Kudo T(5), Matsuoka K(1), Kiuchi K(1), Kosaka J(1), Nagatsuka K(3), Iida H(2), Kishimoto T(1)	(1)Department of Psychiatry, Nara Medical University (2)Departments of Investigative Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (3)Neurology, National Cerebral and Cardiovascular Center (4)Department of Psychiatry, Osaka University Medical School (5)Department of Psychiatry, Osaka University Health Care Center	A structural model of age, grey matter volumes, education, and personality traits.	Psychogeriatrics, 2015
75	Yasuno F(1,2), Taguchi A(3,4), Yamamoto A(2), Kajimoto K(3), Kazui H(5), Kudo T(5), Kikuchi-Taura A(6), Sekiyama A(7), Kishimoto T(1), Iida H(3), Nagatsuka K(3)	(1)Department of Neuropsychiatry, Nara Medical University (2)Department of Investigative Radiology, National Cerebral and Cardiovascular Center (3)Department of Neurology, National Cerebral and Cardiovascular Center (4)Institute of Biomedical Research and Innovation, Foundation for Biomedical Research and Innovation (5)Department of Neuropsychiatry, Osaka University Medical School (6)Department of Clinical Research, National Hospital Organization, Osaka Minami Medical Center (7)Department of Brain Science, Osaka City University Graduate School of Medicine	Microstructural abnormality in white matter, regulatory T lymphocytes, and depressive symptoms after stroke.	Psychogeriatrics. 14(4), 213-21, 2014

小計

76	Tanaka N(1), Asakawa I(2), Katayama E(2), Hirayama A(1,4), Hasegawa M(2), Konishi N(3), Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Radiation Oncology, Nara Medical University (3)Department of Pathology, Nara Medical University (4)Department of Urology, Nara Hospital Kinki University Faculty of Medicine	The biochemical recurrence-free rate in patients who underwent prostate low-dose-rate brachytherapy, using two different definitions.	Radiation oncology (London, England). 9, 107, 2014
77	Miyake M(1), Tanaka N(1), Asakawa I(2), Morizawa Y(1), Anai S(1), Torimoto K(1), Aoki K(1), Yoneda T(1), Hasegawa M(2), Konishi N(3), Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Radiation Oncology, Nara Medical University (3)Department of Pathology, Nara Medical University	Proposed salvage treatment strategy for biochemical failure after radical prostatectomy in patients with prostate cancer: a retrospective study.	Radiation oncology (London, England). 9, 208, 2014
78	Tanaka N(1), Torimoto K(1), Asakawa I(2), Miyake M(1), Anai S(1), Hirayama A(4), Hasegawa M(2), Konishi N(3), Fujimoto K(1)	(1)Departments of Urology, Nara Medical University (2)Radiation Oncology, Nara Medical University (3)Departments of Urology and Pathology, Nara Medical University (4)Department of Urology, Nara Hospital Kinki University Faculty of Medicine	Use of alpha-1 adrenoceptor antagonists in patients who underwent low-dose-rate brachytherapy for prostate cancer – a randomized controlled trial of silodosin versus naftopidil.	Radiation oncology (London, England). 9, 302, 2014
79	Yoshikawa M, Fujita Y, Yamamoto Y, Yamauchi M, Tomoda K, Koyama N, Kimura H	Second Department of Internal Medicine, Nara Medical University	Mini Nutritional Assessment Short-Form predicts exacerbation frequency in patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Respirology (Carlton, Vic.). 19(8), 1198-203, 2014
80	Hasegawa T, Ueda T, Okamoto M, Ogata N	Department of Ophthalmology, Nara Medical University	Relationship between presence of foveal bulge in optical coherence tomographic images and visual acuity after rhegmatogenous retinal	Retina (Philadelphia, Pa.). 34(9), 1848-53, 2014
81	Takayama T, Matsumoto S, Wakatsuki K, Tanaka T, Migita K, Ito M, Nakajima Y	Department of Surgery, Nara Medical University	Novel laparoscopic procedure for treating proximal early gastric cancer: laparoscopy-assisted pylorus-preserving nearly total gastrectomy.	Surgery today. 44(12), 2332-8, 2014
82	Inoue T(1), Nakagawa T(1), Nakamura S(1), Ueda T(1), Nishigori N(1), Kawasaki K(1), Obara S(1), Nakamoto T(1), Nakajima Y(1), Koyama F(2), Fujii H(2)	(1)Department of Surgery, Nara Medical University (2)Department of Endoscopy & Ultrasound, Nara Medical University Hospital	Laparoscopic surgery after endoscopic resection for rectal cancer and neuroendocrine tumors.	Surgical endoscopy. 29(6), 1506-11, 2015

小計

83	Park HS(1), Nakagawa I(1), Wada T(2), Nakagawa H(2), Hironaka Y(1), Kichikawa K(2), Nakase H(1)	(1)Department of Neurosurgery, Nara Medical University (2)Department of Radiology, Nara Medical University	Giant vertebral artery aneurysm in a child treated with endovascular parent artery occlusion and coil embolization.	Surgical neurology international. 5(Suppl 4), S143- 7, 2014
84	Nishi T, Ueda T, Hasegawa T, Miyata K, Ogata N	Department of Ophthalmology, Nara Medical University	Retinal thickness in children with anisohypermetropic amblyopia.	The British journal of ophthalmology. 99(8), 1060-4, 2015
85	Tanaka T, Arai Y, Inaba Y, Inoue M, Nishiofuku H, Anai H, Hori S, Sakaguchi H, Kichikawa K	Department of Radiology, Nara Medical University	Current role of hybrid CT/angiography system compared with C-arm cone beam CT for interventional oncology.	The British journal of radiology. 87(1041), 20140126, 2014
86	Nomi T(1,2), Fuks D(1), Govindasamy M(1), Mal F(1), Nakajima Y(2), Gayet B(1)	(1)Department of Digestive Disease, Institut Mutualiste Montsouris, Universite Paris Descartes (2)Department of Surgery, Nara Medical University	Risk factors for complications after laparoscopic major hepatectomy.	The British journal of surgery. 102(3), 254-60, 2015
87	Shimokura R(1), Hosoi H(1), Nishimura T(1), Yamanaka T(1), Levitt H(2)	(1)Department of Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery, Nara Medical University (2)Advanced Hearing Concepts Incorporated	Cartilage conduction hearing.	The Journal of the Acoustical Society of America. 135(4), 1959-66, 2014
88	Wada T(1), Takayama K(2), Taoka T(1), Nakagawa H(1), Myouchin K(2), Miyasaka T(1), Akashi T(1), Sakamoto M(1), Kichikawa K(1)	(1)Department of Radiology, Nara Medical University (2)Department of Radiology and Interventional Neuroradiology, Ishinkai Yao General Hospital	Long-term treatment outcomes after intravascular ultrasound evaluation and stent placement for atherosclerotic subclavian artery obstructive lesions.	The neuroradiology journal. 27(2), 213-21, 2014
89	Ichihashi S, Kichikawa K.	Department of Radiology, Nara Medical University	Role of the latest endovascular technology in the treatment of intermittent claudication.	Therapeutics and clinical risk management. 10, 467-74, 2014
90	Mibu H(1,2), Tanaka N(1), Hosokawa Y(1,3), Kumamoto H(1,4), Margami N(5), Hirao Y(1), Fujimoto K(1)	(1)Department of Urology, Nara Medical University (2)Department of Urology, Nara Prefectural Gojyo Hospital (3)Department of Urology, Kikkoukai Tane hospital (4)Department of Urology, Saiseikai Nara Hospital (5)Department of Radiology, Nara Medical University	Estimated functional renal parenchymal volume predicts the split renal function following renal surgery.	World journal of urology, 2015

合計

小計

8

90

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限定されること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式3)

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
・ 手順書の主な内容	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 6 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 目的、適用範囲、利益相反管理委員会、利益相反に関する相談室、自己申告書の提出、委員会における審査等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 6 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容 H26. 8. 18 「IRB委員の経験からみた、研究者に求められる倫理」 講師 鵜飼万貴子弁護士 H26. 11. 28 「医療倫理と研究倫理」 講師 北海道大学大学院 寶金清博教授	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科が総合的な臨床力を重視するとともにさまざまな専門医養成コースを準備しており、複数科連携プログラムも稼働している。このため各人がそれぞれのニーズに合わせてキャリアデザインを組むことが可能となっている。
内科各科の連携は密接で内科合同カンファレンスを定期的で開催するとともに、総合内科専門医養成コースを設けている。
さらに、産婦人科では女性医師のキャリアを考えた支援コースなども設けており、各診療科で必要とされる臨床能力の向上と、各人のキャリアプランに合わせて研修が受けられるようになっている。

2 研修の実績

研修医の人数	90人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
斉藤 能彦	循環器・腎臓・代謝内科	教授	34年	
木村 弘	呼吸器・アレルギー・血液内科	教授	37年	
吉治 仁志	消化器・内分泌代謝内科	教授	28年	
上野 聡	神経内科	教授	36年	
中島 祥介	消化器外科・小児外科・乳腺外科	教授	40年	
中瀬 裕之	脳神経外科	教授	32年	
谷口 繁樹	心臓血管外科・呼吸器外科	教授	33年	
田中 康仁	整形外科	教授	31年	
小林 浩	産婦人科	教授	35年	
緒方 奈保子	眼科	教授	32年	
嶋 緑倫	小児科	教授	36年	
岸本 年史	精神科	教授	34年	
浅田 秀夫	皮膚科・形成外科	教授	31年	
藤本 清秀	泌尿器科	教授	28年	
北原 紘	耳鼻咽喉科・甲状腺外科	教授	23年	
吉川 公彦	放射線科	教授	35年	
長谷川 正俊	放射線治療・核医学科	教授	33年	
川口 昌彦	麻酔科	教授	27年	
西尾 健治	総合診療科	教授	33年	
桐田 忠昭	歯科口腔外科	教授	32年	
奥地 一夫	救急科	教授	35年	
三笠 桂一	感染制御内科	教授	35年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 古家 仁(個人情報保護管理者)
管理担当者氏名	経営企画課長 西浦嘉彦 医療サービス課長 松村哲也 病院管理課 後藤淳宏

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部 薬剤部	個々の患者諸記録、各科の記録は電子カルテで一括管理。処方せんについては薬剤部。診療録等個人情報の院外持出に関して、職員等の場合は規程あり。他の者からの院外持出については想定無(不可)。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	各種データ(又は簿冊)による。	
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科		
	高度の医療の研修の実績	各診療科		
	閲覧実績	実績無し		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療情報部 地域医療連携室	各種データ(又は簿冊)による。	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療情報部		
	第規一則 号第一に掲げる十 体一制第一 項保各の号 状及び第九 条の第二十 第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	各種データ(又は簿冊)による。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全推進室		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全推進室		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染管理室		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全推進室		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全推進室			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全推進室 医療技術センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室 医療技術センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全推進室 医療技術センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室 医療技術センター		

各種データ(又は簿冊)による。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 古家 仁	
閲覧担当者氏名	病院管理課 課長補佐 廣田 雅彦	
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 執務室	
閲覧の手続の概要		
「公立大学法人奈良県立医科大学個人情報取扱規程」を準用した開示(閲覧)手続による。		
(診療録等個人情報を含む場合)		
1. 開示(閲覧)請求		
↓		
2. 法人内部での決裁		
↓		
3. 総合窓口(県 総務部総務課)への協議		
↓		
4. 決定		
↓		
5. 開示(閲覧)		
(個人情報を含まない場合)		
上記 3、4を略		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：医療事故の予防・再発防止対策ならびに発生時の適切な対策など、奈良県立医科大学附属病院における医療安全管理体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることを目的とした内容になっている。患者に信頼される医療サービスの提供と医療の質的向上を求めていくことを安全管理に関する基本姿勢とし、医療安全管理体制の構築（医療安全管理委員会、医療安全推進室の設置等）、医療安全管理のための院内報告制度等の構築、医療事故発生時の対応方法の確立、職員に対する安全教育・研修の実施等について記している。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：医療安全推進室の活動報告および重要案件の審議等を行う。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：平成26年度「安全な内視鏡検査のために」「医療コミュニケーション(集合研修)」「医療コミュニケーション(DVD研修)」「医療機器の安全管理Ⅰ MRI検査・放射線の安全管理」「医薬品の安全管理Ⅰ ジェネリックって何?」「医療機器の安全管理Ⅱ モニターの安全管理」「医療事故のメカニズム」「みんなで取り組む医療安全」「ハラスメントを生まない職場作り」「インフォームド・コンセント」「医薬品の安全管理Ⅱ PMDAによる市販後安全対策」「ダイバーシティ推進が育む快適職場」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容： 報告制度を当然の業務として全職員に認識させ、インシデント・アクシデントの分析・対策がフィードバックしやすいシステムを構築する。インシデント・アクシデント発生報告の中で報告数の多い事例や問題になる可能性が高いと思われる事例を中心に医療安全ニュース等医療安全情報を配布し、発生防止を促している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (4名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (3) 名活動の主な内容：・医療安全に係る庶務に関すること・医療事故及びインシデントに関する診療録及び看護記録等の記載事項の確認と指導に関すること・医療事故等の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導に関すること・医療事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認と必要な指導に関すること・医療安全に係る情報提供及び連絡調整に関すること・患者等や職員からの医療・診察の安全に関する相談及び連絡調整に関すること・リスクマネージャによる医療安全推進活動に関すること・肺血栓塞栓症予防体制の確立に向けた活動に関すること・呼吸サポートチームの活動の調整、記録物等の保管に関すること・医薬品安全管理に関すること、医療機器安全管理に関すること・その他医療安全対策の推進に関すること。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>病院としての感染対策に関する基本的考え方や、感染対策を実行するための委員会や組織、従業員に対する研修や感染発生時の報告体制や対応、患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針、その他感染対策を推進するために必要な基本方針を記載している。</p> <p>平成27年4月1日「奈良県立医科大学附属病院における感染対策指針」を全面改訂</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>院長、感染症センター長、感染管理室長、看護部長、ICD、ICNなど19名を構成委員として毎月1回開催している。</p> <p>また、耐性菌の検出状況や抗菌薬の使用状況、針刺し事件事例や医療関連感染事例や、従業員に対する研修の実施状況などを報告している。医療関連感染事例の対応や本指針、感染対策に関するマニュアル等の制定・改廃の承認についての審議と意思決定を行っている。</p> <p>平成27年4月1日「奈良県立医科大学附属病院における感染対策指針」全面改訂により構成員を19名から21名に増員。</p>	
③ 従業員に対する院内感染対策のための研修の実施状況	有 年8回
<p>職員に感染対策として周知・徹底したい知識や方法をテーマとして、全職員を対象に研修を実施している。平成26度は8回の集合研修を実施した。また、研修会に参加できない職員を対象にDVD貸出による研修を実施し、アンケート形式による受講報告書の提出を義務づけており、未受講者に関しては所属長が未受講理由の報告を書面で提出することで未受講者の状況把握を行っている。</p> <p>またこれとは別に、新規採用および中途採用職員を対象とした研修会を開催し、参加できない職員にはDVD貸出による研修を実施することにより、当院における感染対策に関する基礎知識と感染対策の推進を行っている。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>病院長を含む病院運営協議会のメンバーを中心とした院内感染防止委員会 (ICC委員会) および医師、看護師、技師、事務等の各所属から代表者を選出して構成する感染対策実務小委員会 (ICT委員会) をそれぞれ月1回開催し、院内における感染症の発生状況やその対策について報告し、周知徹底を行っている。</p> <p>さらに、これらのメンバーを中心としたメーリングリストを作成し、「感染対策週報」として感染管理室からのメールによる情報発信を毎週行っている。</p> <p>他にも週1回のICTラウンドや毎日行われるICTミーティングなど様々な方策で感染対策の推進・充実に向けた活動を行っている。</p> <p>平成27年4月1日「奈良県立医科大学附属病院における感染対策指針」全面改訂により院内感染防止委員会は感染防止委員会となる。</p>	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： PMDAによる市販後安全対策～医薬品医療機器等安全性情報報告制度を中心～(H27. 2. 10) いま始めるより安全な睡眠薬の選択(H27. 7. 22)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有・無)業務の主な内容： 医薬品安全管理委員会にメンバーとして毎月出席。 研修会や必要に応じて手順書の改訂を実施。 手順書の遵守状況確認、リスクマネージャーにも確認を依頼しチェック票を回収。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容： 製薬会社・インターネット等により収集し、電子カルテにより情報を周知に努めている。	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 新規採用者向けオリエンテーション（医療機器の安全管理） 医療安全管理研修（医療機器の安全管理Ⅰ MRI検査・放射線の安全管理、 医療機器の安全管理Ⅱ モニターの安全管理） 適宜、病棟単位での勉強会の実施 ・機器研修 10件（内、新規機器研修 5件）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有・無)保守点検の主な内容： 人工呼吸器、透析関連機器、除細動器（AED）、閉鎖式保育器、人工心肺関連機器（補助循環装置）、電気メス、麻酔器、高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線装置の定期点検の実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全推進室とともに、PMDAや日本医療機能評価機構からの情報の共有 また、業者からの報告情報の共有を行っている。	